



鳥取城跡(天球丸から市街地を望む。手前は復元した巻石垣)

春季
特別展

姫路市姉妹都市提携50周年

鳥取市の美術工芸や歴史資料、県下の民藝、郷土玩具など60点を紹介します。

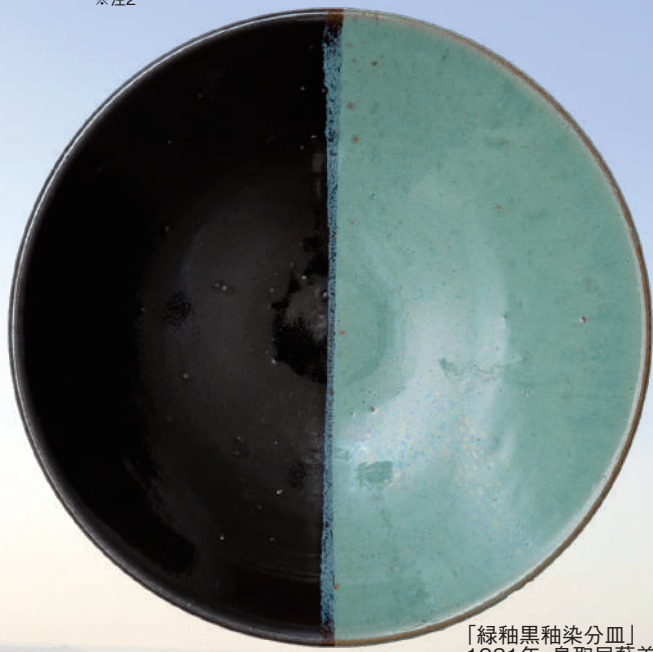
鳥取の美術工芸と民藝



「白瓷捨面取壺」 前田昭博 2016年 個人蔵



「折畳スツール」 辰己木工作
1955-65年頃 鳥取民藝美術館蔵
※注2



「緑釉黒釉染分皿」 牛ノ戸焼
1931年 鳥取民藝美術館蔵
※注2



吉田 達也(鳥取民藝の父と呼ばれた。)※注1

会期

2022年4月16日(土)~6月12日(日)

開館時間/午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日/月曜日(5月2日は開館)、5月6日(金)

入館料/一般310(250)円、大学・高校生210(160)円、
中学・小学生50(40)円

※常設の展示もご覧いただけます。 ※()内の料金は20人以上の団体

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、及び介護者1人、姫路市内在住の65歳以上の方、どんぐりカード、ココロンカード提示の小中学生は無料。

主催/姫路市書写の里・美術工芸館
協力/鳥取市歴史博物館、鳥取民藝美術館、やなせ窯
企画/公益財団法人姫路市文化国際交流財団

鳥取砂丘(国の天然記念物)



春季特別展

姫路市 姉妹都市提携50周年

鳥取の美術工芸と民藝

姫路市と鳥取市との歴史的な結びつきは古く、1600(慶長5)年に姫路城主(播磨姫路藩初代藩主)池田輝政の弟・池田長吉が鳥取城主(因幡鳥取藩初代藩主)となりました。また1616(元和2)年に第3代姫路藩主となった池田光政は、翌年には鳥取藩主となり鳥取城下町の基盤を整備しました。2022年には姫路市と鳥取市が姉妹都市提携(1972年3月8日)を実施してから50周年を迎えることを記念し、鳥取市の美術工芸や歴史資料、県下の民藝、郷土玩具など60点を紹介します。



「ににぐりネクタイ」 1931年 鳥取民藝美術館蔵 ※注2、注3



「緑釉白釉黒釉三掛皿」 牛ノ戸焼 1957年 鳥取民藝美術館蔵 ※注2

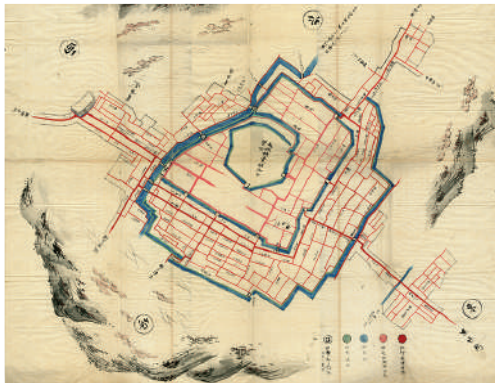


「座彫鳥居型椅子」 虎尾次作 1935年頃 鳥取民藝美術館蔵 ※注2



「白瓷面取壺」 前田昭博 2015年 個人蔵

鳥取市出身の民藝運動家で医師の吉田璋也(よしだしょうや・1898-1972年)は「民藝のプロデューサー」として衣食住に渡る作品をデザインし、民藝の美を生活に取り入れました。吉田がデザイン指導した陶芸、木工、染織作品を紹介します。



「大阪鎮台姫路分官所絵図」 明治期 鳥取市歴史博物館蔵



「麒麟獅子の郷土玩具」 当館蔵

鳥取市内で「柳屋」の屋号で因幡地方に伝わる郷土玩具を制作した田中達之助・勤二の作品や資料を紹介します。麒麟(きりん)獅子(鳥取市と周辺で秋の祭礼に行われる獅子舞の一種)の張り子に関する記録などが描かれています。



前田昭博 (またあきひろ)

1954年生まれ、鳥取市河原町在住で、「白磁(はくじ)」で重要無形文化財保持者(※鳥取県在住で初の人間国宝)に認定されました。その工房「やなせ窯」は清水公照(書写の里・美術工芸館の元名誉館長)が名付けました。これらの交流の様子などもあわせて紹介します。

- 陶歴
- 1954年 現在の鳥取市河原町本鹿に生まれる、1977年大阪芸術大学工芸学専攻卒業
- 1991年 第11回日本陶芸展「毎日新聞社賞」受賞
- 1993年 第48回新匠工芸展「富本賞」受賞
- 1994年 第37回日本工芸会中国支部展「金重陶賞」受賞
- 1997年 第10回MOA岡田茂吉賞展「優秀賞」受賞
- 1999年 鳥取市文化賞受賞
- 2000年 第47回日本伝統工芸展「朝日新聞社賞」受賞、第55回新匠工芸展「稲垣賞」受賞
- 2003年 20回記念田部美術館大賞「茶の湯の造形」展大賞受賞
- 2004年 第50回日本伝統工芸展「第50回記念賞」受賞
- 2004年 2003年度 日本陶磁協会賞受賞、第61回中国文化賞受賞
- 2005年 第60回新匠工芸展「60回記念大賞」受賞
- 2007年 「わざの美 伝統工芸の50年」展招待出品(大英博物館 イギリス) 紫綬褒章受章
- 2009年 企画展「前田昭博 白瓷の造形」(鳥取県立博物館)
- 2010年 鳥取県文化功労賞受賞
- 2012年 第29回田部美術館大賞「茶の湯の造形」展 優秀賞受賞(田部美術館)
- 2013年 重要無形文化財「白磁」保持者認定
- 2016年 第1回「工芸-Kogei」の創造-人間国宝-」展(和光ホール)
- 2020年 2019年度日本陶磁協会賞・金賞受賞
- 現在
- 日本工芸会 陶芸部会長、大阪芸術大学客員教授
- 重要無形文化財「白磁」保持者

会期中の催し物

ガイドツアー(展示解説会) 日時 4月23日(土)・5月5日(木)・5月21日(土)・6月4日(土) 14:00~14:30(いずれも) 講師 当館学芸員 定員 15人(当日先着順、1時間前から整理券を配布) 場所 展示会場 備考 当日どなたでもご覧いただけますが、入館料が必要です。	ワークショップ「新緑陶芸教室」 日時 5月8日(日) ①10:00~12:00 ②13:00~15:00 講師 夢工房陶治の皆さん 定員 30人(①②とも) 場所 当館軒下(屋外) 参加費 1,100円 4月21日(木)までに往復はがきかホームページから申し込み、応募多数の時は抽選。	伝統工芸体験講座「姫山人形教室」 二日かけて木彫りから色付けまで、全工程を体験しながら姫山人形をつくります。 日時 6月4日(土)・5日(日) 10:00~16:00 講師 姫山人形舎の皆さん 定員 10人 場所 工芸工房(館内) 参加費 2,500円 5月24日(火)までに往復はがきかホームページから申し込み、応募多数の時は抽選。
---	--	--



他館展覧会情報

美 姫路市立美術館 ☎079-222-2288
郷土ゆかりの美術家の作品、日本やベルギーなど海外の近現代美術作品を展示

姫路文学館 ☎079-293-8228
特別展「生誕100年記念 山田風太郎展」
2022年4月16日(土)~6月5日(日)

姫路市書写の里・美術工芸館 交通のご案内

- JR・山陽電気鉄道姫路駅より神姫バス「書写山ロープウェイ行き」で約25分、終点下車徒歩約3分。
- 姫路ハイパス・姫路西ランプより約15分。
- 山陽自動車道・姫路西ICより約10分。
- 中国自動車道・夢前スマートICより約20分。
- 無料駐車場(45台)

※注1) 撮影:池内廣吉 写真提供:鳥取民藝美術館 ※注2) 撮影:白岡晃 表記年は吉田璋也がデザインした年 ※注3) 出品はうち数点